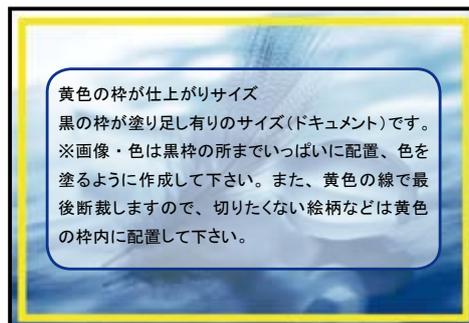


◆ illustrator の場合 ◆

●ドキュメントサイズと塗り足し



ドキュメントを新規作成する際には、仕上がりサイズに天地左右(上下左右)それぞれ3mmずつ(計6mm)大きくしたサイズで作成して下さい。  
 →この3mmは仕上がりサイズに断裁した際、紙の地色が出ないようにする為の塗り足し分となります。裁ち落としのあるデザインの場合、特に必要になってきます。

例) 仕上がりサイズが100×148の場合、ドキュメントサイズは106×154となります。

塗り足しのあるデータを作成される際は、必ずドキュメントサイズいっぱいまで色や画像がある様にして下さい。仕上がりサイズまでしかデータを作成されていないと、仕上げた際に紙の地色が見えたり見えなかったりする商品が出来てしまいます。  
 →印刷時や仕上げ断裁時に起こってしまう微妙なずれが吸収できないので、塗り足しが必要になってきます。

●テキストの位置



テキストや切れてしまうと問題があるデザインは、仕上がりサイズより内側に配置して下さい。

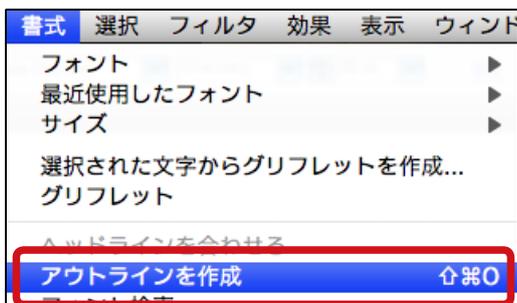
上図1: 仕上がりサイズより内側にあるため問題ありません。

上図2: 仕上がりサイズからはみ出してしまって「L」の文字が切れてしまうのでNGです。

上図3: 仕上がりサイズぎりぎりに配置されますと、文字が切れたり切れなかったりするためNGです。

※黄色枠は塗り足し(3mm)です。

●アウトライン



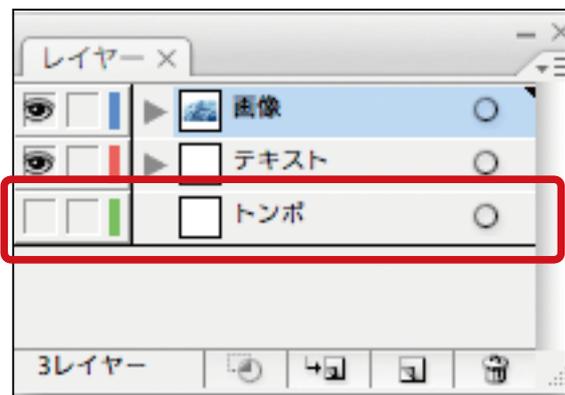
アウトライン化したテキスト

テキストは必ずアウトラインをとって下さい。

→お客様のご使用しているフォントが弊社でない場合、フォントが置き換わってしまう可能性があります。

※アウトラインとはテキストを画像化にし、どの環境で開いても文字が置き換わらないようにする為の作業です。なお、アウトラインをとると文字が少し太くなりますのでご注意下さい。

●レイヤー



← この様なレイヤーは破棄して下さい。

必要なレイヤー以外は非表示ではなく、必ず破棄し使用するレイヤーのみにして下さい。

→「印刷しないため非表示にしていたレイヤーの画像も印刷されてしまった」という事故を防ぐ為です。

●リンク

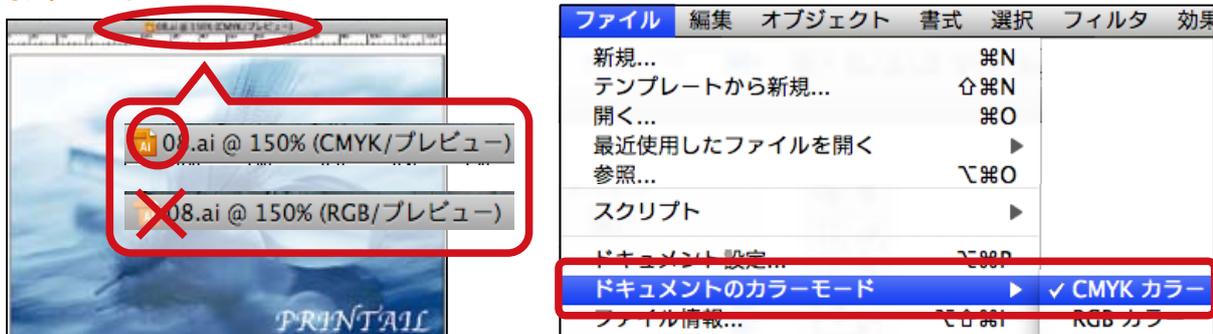


配置した画像は埋め込みをして下さい。(リンクタブ右上▼→画像を埋め込み)

→ご入稿頂いた際のリンク切れを防ぐ為です。

※埋込をしない場合は、画像とファイルを一緒のフォルダに入れてご入稿下さい。

●カラーモード



カラーモードを RGB で作成された場合、CMYK にしてご入稿下さい。(ファイル→ドキュメントのカラーモード→ CMYK)

→印刷機の特性上 RGB で作成されたデータは CMYK の範囲内で表現できる近似値に置き換わるため、RGB モードでご覧頂いていた色より少しくすんでしまう場合がございます。(例えば、青が少し紫がかった青になってしまう等) ですのであらかじめお客様の方でご変換して頂き、色の確認後ご入稿下さい。